

「自動車のモノづくりの観える化を支える計測技術」

本講習会では、自動車のドア等のパネル部品を中心としたプレス成形等において、不具合への対応等で必要となる成形プロセスの観える化に必要な、各種計測技術の基礎について紹介します。また、部品のプレス成形シミュレーションの高精度化では、精度良い材料特性の計測が必要不可欠となります。研究室で独自開発した材料の機械的特性の計測方法も述べます。計測技術は、他分野への適用も可能であり、応用範囲が広いと思います。

【講習内容】

- ①自動車の生産技術開発における計測技術の重要性
- ②引張試験における精度良いひずみゲージの貼り方及ひずみの計測
- ③スクライブドサークルを使用した金属板材の成形限界曲線の計測
- ④板材の引張試験における局所くびれ発生の計測
- ⑤渦電流変位計を用いた成形中の金型等の変形計測
- ⑥サーボプレスを用いたプレスの成形速度での引張試験方法 その他

日本大学生産工学部機械工学科・教授 高橋進
日本大学 生産工学部 機械工学科(2007/04~)
日産自動車株式会社 車両技術開発試作部(1998/04-2007/03)
日産自動車株式会社 技術開発センター(1993/01-1998/03)
日産自動車株式会社 総合研究所 材料研究所(1989/04-1992/12)
社命留学 (Computational Mechanics Institute : 英国) (1986/07-1989/03)
日産自動車株式会社 総合研究所 材料研究所配属(1981/04-1986/06)



日本大学生産工学部機械工学科・助手 鈴木康介
日本大学 生産工学部 機械工学科(2018/04~)
東京製綱株式会社 C F C C事業部(2015/04-2018/03)
東京製綱株式会社 鋼索鋼線事業部 市場技術部(2011/04-2015/03)
東京製綱株式会社 研究所配属所 材料研究所(2009/04-2011/03)
日本大学大学院 理工学研究科 博士後期課程修了(2009/03)



開催日:2021年3月23日(火) 13時~17時 形式:Microsoft Teams オンライン開催

◆参加費:日本大学NU-CAR賛助会員(1口3名様まで無料)

一般参加者20,000円

協賛学会員(自動車技術会,日本機械学会,日本塑性加工学会,日本鉄鋼協会) 15,000円

◆募集定員:最大40名程度

◆参加受付期間:3月17日(水)

◆参加申込方法: cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp にメールでお願いします

(要記載事項:氏名、会社名、住所、電話番号、参加費区分)